

令和2年度 社会福祉法人花ノ木 事業報告

社会福祉施設を経営し、社会福祉の主たる担い手である社会福祉法人は自律的に経営基盤の強化を図り、利用児・者の人権を尊重した福祉、医療サービスを提供するとともに複雑多様化する福祉医療の課題に積極的に対応する等社会福祉事業者としての使命を果たすことが大切であります。これらを踏まえて令和2年度においても公益法人にふさわしいガバナンスと透明性を備えた事業を展開しました。

1 中・長期計画の策定

施設診断、第三者評価、職員の意識調査等を踏まえ、所属横断的に職員の力を結集し、将来を見据えた中・長期計画の策定に取り組み、次年度の計画策定につなげることにしました。

2 施設設備の整備充実

- (1) 上記中・長期計画に基づき、経年劣化等に対応し、施設設備の機能回復等長寿命化を図る施設整備計画の検討を進めました。
- (2) 老朽化した情報ネットワークを更新するなど、安心安全で適切なネットワークの構築を進めました。

3 地域支援の取組

中・長期計画に基づき、社会福祉法人の役割である地域貢献を果たすため、花ノ木のもつ資源を活用し、短期入所の促進を図るとともに、発達障害児の支援については、医療、福祉支援に教育的支援を加えた多様なサービスを展開し、就学後の発達支援を充実しました。

また、在宅の重症心身障害児・者や保護者への多様なサービス提供体制を整えるため、コロナ禍ではありましたが、府内の重症心身障害児・者の状況の迅速な把握に努める等地域支援の取組を調査・検討しました。

4 経営、財政及び人事

- (1) 経営及び財政の強化を図るため、適正な予算管理と執行管理の徹底を図るとともに、効率的な予算執行に努め、各事業分野における事業の点検・見直しを行い、事務事業の改善を進めました。
また、当法人からの積極的な働きかけにより新たに京都市から短期入所補助金を得るなど収入の確保にも努めました。
- (2) 適正な人事評価を行い評価に基づき人材育成を行うとともに、働き方改革等労働環境の変化に適応した人材確保対策を強化し、必要な人材の確保に努めました。

5 組織運営・管理

- (1) 花ノ木医療福祉センターが持つ人的物的機能の共通化を図り、各課題に応じた各部署の横断的な組織を設置し、検討を進めるとともに病棟間等の支援体制の整備を行いました。
- (2) 日常生活支援の充実や入所者の権利擁護等個々を尊重する事業の充実などの活動に努め、利用者のより良い生活に資することができました。

6 防災対策の充実

頻発する地震や異常気象、火災に備えるため、BCPの適切な見直しを行うとともにいざという時の体制の確保や防災訓練を施設全体で計画的に実施しました。

7 新型コロナウイルス感染対策

職員一人ひとりが自覚をもって新型コロナウイルス等感染症対策を実施し、入所者の命を守る行動に努めました。また、京都府、亀岡市とも情報共有を図り、一人も感染者を出すことなく各事業を実施することができました。

また、国の補正予算を積極的に活用し、空気清浄機や非接触型の体温計等、新型コロナウイルス感染対策に必要な備品を購入するなど、感染症に対応する環境整備に努めました。